

福祉サービス第三者評価結果報告書(平成29年度)

[ver.2]

年 月 日

東京都福祉サービス評価推進機構
公益財団法人 東京都福祉保健財団理事長 殿

〒 131-0032

所在地 東京都墨田区東向島六丁目37番4号

評価機関名 一般社団法人 アクティブ ケア アンド サポート

認証評価機関番号

機構 03 - 091

電話番号 03-6657-4511

代表者氏名 代表理事 小池一步

印

以下のとおり評価を行いましたので報告します。

評価者氏名・担当分野・評価者養成講習修了者番号	評価者氏名		担当分野	修了者番号
	①		経営	H1101037
	②		福祉	H0502074
	③		福祉	H0602015
	④			
	⑤			
	⑥			
福祉サービス種別	認可保育所			
評価対象事業所名称	株式会社学研ココファン・ナーサリー ココファン・ナーサリー砧			
事業所連絡先	〒	157-0073		
	所在地	東京都世田谷区砧5丁目20番14号		
	TEL	03-5727-9351		
事業所代表者氏名	園長 西野 幸生			
契約日	2017 年 6 月 27 日			
利用者調査票配付日(実施日)	2017 年 9 月 15 日			
利用者調査結果報告日	2017 年 10 月 30 日			
自己評価の調査票配付日	2017 年 6 月 27 日			
自己評価結果報告日	2017 年 10 月 30 日			
訪問調査日	2017 年 11 月 20 日			
評価合議日	2017 年 12 月 6 日			
コメント (利用者調査・事業評価の工夫点、補助者・専門家等の活用、第三者性確保のための措置などを記入)	1. 利用者調査は、保護者60人(世帯)に対しアンケート方式により実施し、評価機関が用意した封筒により郵送してもらい、43人(世帯、72%)から回答が寄せられました。 2. 事業評価に当り、経営層及び職員に対し、「第三者評価ハンドブック」を使って事業評価の目的、手順、回答シートの記入要領などを説明しました。 3. 訪問調査は、11月20日(月)に行い、聞き取り調査と併せて、延長保育と食事の場面を含む保育状況全般を観察しました。 4. 評価者はいずれも評価対象事業所とは事業上の関係を有せず第三者性の確保を図りました。			

評価機関から上記及び別紙の評価結果を含む評価結果報告書を受け取りました。
本報告書の内容のうち、

- 機構が定める部分を公表することに同意します。
- 別添の理由書により、一部について、公表に同意しません。
- 別添の理由書により、公表には同意しません。

年 月 日

事業者代表者氏名

印

1	<p>理念・方針（関連 カテゴリー1 リーダーシップと意思決定）</p> <p>事業者が大切にしている考え（事業者の理念・ビジョン・使命など）のうち、特に重要なもの（上位5つ程度）を簡潔に記述 （関連 カテゴリー1 リーダーシップと意思決定）</p> <p>< 学研ココファン・グループ企業理念・保育理念 > すべての人が心ゆたかに生きることを願い、今日の感動・満足・安心と明日への夢・希望を提供します。</p> <p><学研ココファン・ナーサリー保育方針></p> <p>① 子どもの養護と教育を両輪とした、子ども主体の心と体の育ちの支援</p> <p>② 子ども一人ひとりの認知・発達に応じた、個別の発達支援</p> <p>③ 地域社会のすべての子育て家庭に対する、様々な取り組みによる育児支援</p>
2	<p>期待する職員像（関連 カテゴリー5 職員と組織の能力向上）</p> <p>(1)職員に求めている人材像や役割</p> <p><子どもや保護者、職員＝すべての人の最善の利益を実現する></p> <p>スタッフは、事業を支援するのではなく、すべての人を支援する。 やり方で闘っても意味は無い。在り方で闘う職員であって欲しい。</p> <p><見守る保育 ⇄ 環境を通して子どもと関わる保育></p> <p>行動の指針 (悩んだら→企業理念にたちかえる→目指す子ども像にたちかえる)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・その活動の目的、課題は何なのか？ に沿って保育環境を検証し ・優先すべきは何？なのかを常にイメージして、保育を実践する。 <p>(2)職員に期待すること(職員に持って欲しい使命感)</p> <p>①子どもの主体的な活動を促す環境になっているだろうか？</p> <p>②子どもの自発的な活動としての遊びや学びを保障する環境になっていただろうか？</p> <p>③子どもひとりひとりの個性に応えうる環境になっていただろうか？</p> <p>④人との関わりを大切にした環境になっていただろうか？</p> <p>※実践⇒ 観察・記録⇒ 見直し・検証⇒ 調整・計画⇒ 再び実践へアセスメント</p>

[ver.2]

調査対象

2017年9月現在の利用者総数(子ども)74人の保護者60世帯を対象に実施し、43人(世帯)から回答が寄せられました(回答者割合72%)。

調査方法

保育園から保護者に対し第三者評価の目的について説明され、保護者へ利用者調査票(保護者用)と評価機関作成の説明書を配布。記入後評価機関へ直接郵送してもらい、9月29日に締切ました。

利用者総数	74
利用者家族総数(世帯)	60
共通評価項目による調査対象者数	60
共通評価項目による調査の有効回答者数	43
利用者家族総数に対する回答者割合(%)	71.7

利用者調査全体のコメント

保育園は、最寄り駅から徒歩8分ほどの住宅地に立地しています。駅前の商店やマンションを通り抜けると落ち着いた住宅街が広がっています。
 回答者の総合的な感想は、「大変満足」が7人(16%)、「満足」が23人(54%)、「どちらともいえない」が7人(16%)、「不満」が5人(12%)、「大変不満」が1人(2%)でした。
 保育園に対する意見・要望には、「子どもの良いところを伸ばそうと全体で見守ってくれる。友達と楽しそうに遊んでいる。遊びや他の子の関わりで刺激を受けている。スポーツチャンバラや科学教室といったオリジナリティがあるカリキュラムを組み込んでいる点は非常に素晴らしい。知育をしているところが気に入っている。20時15分まで延長できる点があるがありがたい。」などのほか、「日頃の子どもの取り組み発表の場として、クリスマス会の合唱や出し物などを開催されると良いと思う。子どもの劇発表や懇談会が4月の他にもあると保護者同士の関わりが増えるのではないかと。保育園での授業参観があったら良いと思った。全体的に園から保護者への情報共有が不足していると思う。」など、このほか多くの記述がありました。

利用者調査結果

共通評価項目	実数			
	はい	どちらともいえない	いいえ	無回答 非該当
1. 保育所での活動は、子どもの心身の発達に役立っているか	37	6	0	0
回答は、「はい」が37人(86%)と多く、「どちらともいえない」が6人(14%)でした。自由意見には、「あいさつや、友達とのコミュニケーション等できるようになり、心身の発達にとても役立っていると思う。友達とけんかしたときにあやまること、あいさつの仕方、人として基本的なことを大事にしてくれている。いろんなことを覚えてきて、とても楽しそうに過ごせているのだと感じている。」などのほか、「保護者参観がないのでどの程度の活動をしているのか不明です。」という記述が見られました。				
2. 保育所での活動は、子どもが興味や関心を持って行えるようになっているか	31	12	0	0
回答は、「はい」が31人(72%)、「どちらともいえない」が12人(27%)でした。自由意見には、「楽しそうに遊んだり、覚えたダンスをやっている。折り紙や絵の描き方・鉄棒などできるようになり嬉しそうに報告してくれる。園庭での遊び・散歩・夏の水遊びなど興味・関心があると思う。」のほか、「もう少し工夫が欲しい、創造力が育つようなものを。情報が少ないので何とも言えません。画用紙などで何かを作る毎月の制作物はありません。」などの記述がありました。				
3. 提供される食事は、子どもの状況に配慮されているか	35	8	0	0
回答は、「はい」が35人(81%)と多く、「どちらともいえない」が8人(19%)でした。自由意見には、「栄養が年齢によってしっかり計算されているようで、配慮されていると思う。お誕生会などのメニューを子どもも楽しみにしている。季節ものご当地ものいろいろな工夫をしてくれている。沢山食べるようだし、野菜も食べているようで、感謝です。」などのほか、「保護者参観などで見られる機会があると良いのですが…。おやつに小魚のみなど疑問を感じます。」などの記述がありました。				

4. 保育所の生活で身近な自然や社会と十分関わっているか	20	18	5	0
<p>回答は、「はい」が20人(47%)と少なく、「どちらともいえない」が18人(42%)、「いいえ」が5人(11%)でした。自由意見には、「子どもがやりたいことを自分で選択させてくれるのは大変よい。限られた環境で戸外遊びなど良く工夫してくれます。」のほか、「行動範囲は(安全面で考慮するとしかたないと思いますが)狭いのかな?と思った。周辺施設の条件もあると思うが、発達過程に見合っていないと感じる。晴れた日は公園で思い切り遊ばせなどしてほしい。」などの記述がありました。</p>				
5. 保育時間の変更は、保護者の状況に柔軟に対応されているか	32	4	1	6
<p>回答は、「はい」が32人(74%)、「どちらともいえない」が4人(9%)、「いいえ」が1人(2%)、非該当が6人(14%)でした。自由意見には、電話の対応に関する記述が見られました。</p>				
6. 安全対策が十分取られていると思うか	31	9	3	0
<p>回答は、「はい」が31人(72%)、「どちらともいえない」が9人(21%)、「いいえ」が3人(7%)でした。自由意見には、「大きな怪我については、保育園と保護者間で情報共有されるはずなのに実際にはされていない。朝の時間は大きい子と同じ部屋での保育のようで、事前に説明がなかった。」などのほか、降園時や合同保育での対応に関する記述がありました。</p>				
7. 行事日程の設定は、保護者の状況に対する配慮は十分か	21	13	9	0
<p>回答は、「はい」が21人(49%)と少なく、「どちらともいえない」が13人(30%)、「いいえ」が9人(21%)でした。自由意見には、「イベント(家族の出席する)が多すぎなくてよい。」や「今年度より運動会が平日(金曜日)になり、両親とも参加できず、子どもの意欲が下がっている。」のほか、運動会の開催日やベビーカーの持ち込みに関する記述が見られました。</p>				
8. 子どもの保育について家庭と保育所に信頼関係があるか	24	10	9	0
<p>回答は、「はい」24人(56%)、「どちらともいえない」10人(23%)、「いいえ」9人(21%)でした。自由意見には、「先生方はひとりひとりの子どもを考えてとても親切に接してくれます、ようやく信頼できる関係になった先生が年度途中で異動される。連絡帳になるべく書くようにしているが、たまにスルーされる。面談は年1回、保育参観なし、普段の様子を聞く機会はありません。」などの記述がありました。</p>				
9. 施設内の清掃、整理整頓は行き届いているか	41	1	1	0
<p>回答は、「はい」が41人(95%)と非常に多く、「どちらともいえない」と「いいえ」が各1人(2%)でした。自由意見には、「トイレも清潔で、使用者にも清潔を保つよう注意書き等貼られており、細かく指示されているので、園全体、きれいにされていると思う。整理整頓はいつも物の置いてある場所が違う(ことがある)。」などの記述がありました。</p>				
10. 職員の接遇・態度は適切か	31	7	4	1
<p>回答は、「はい」が31人(72%)、「どちらともいえない」が7人(16%)、「いいえ」が4人(9%)、無回答が1人(2%)でした。自由意見には、「笑顔が少ない、言葉使いや服装は大丈夫ですがほとんどの人が元気があまりない気がする。保護者に対して高圧的と感じることが時々あるのが気になる。」などのほか、職員の言動、マナー、化粧に関する記述が見られました。</p>				

11. 病気やけがをした際の職員の対応は信頼できるか	33	7	2	1
<p>回答は、「はい」が33人(77%)、「どちらともいえない」が7人(16%)、「いいえ」が2人(5%)、非該当が1人(2%)でした。意見には、「何かあった際はすぐに連絡があり、状況を見て病院へ連れて行ってくれた。丁寧に状況を説明してくれる。園でけがをした時は責任を持って対応してくれる。」のほか、「傷が出来て帰ってきたけれど説明がない日もある(気づいていなかったのか…)。けがが発生した後の対応は改善されるべき。」などの記述がありました。</p>				
12. 子ども同士のトラブルに関する対応は信頼できるか	19	9	6	9
<p>回答は、「はい」が19人(44%、非該当の9人を除くと56%)、「どちらともいえない」が9人(21%)、「いいえ」16人(14%)、非該当が9人(21%)でした。自由意見には、「双方の意見を聞いてしっかり行けなかったことをつたえてくれているので子どもが納得しています。」ほか「仲裁ではなく片方にのみ加勢しているように子どもからきています。子どもの目にそのように見えているのは問題だと思いません。子どもの顔に傷つけられた時相手の子の親には伝えていないらしいのは気になります(2人)。」がありました。</p>				
13. 子どもの気持ちを尊重した対応がされているか	29	12	2	0
<p>回答は、「はい」が29人(67%)、「どちらともいえない」が12人(28%)、「いいえ」2人(5%)でした。自由意見には、「大好きな先生がいる保育園に行くのを楽しみにしているので、子どもは大好きな場所です。とても(そう思う)。」のほか、「送迎時に見る保育士の対応は、子どもの気持ちを大切にしていると思うが、実際預けている間の対応は見たことがないので何とも言えません。対応は事務的だと思う。」がありました。</p>				
14. 子どもと保護者のプライバシーは守られているか	34	6	1	2
<p>回答は、「はい」が34人(79%)、「どちらともいえない」が6人(14%)、「いいえ」が1人(2%)、非該当が2人(5%)でした。自由意見には、「園長先生が知識が深く対応に慣れていると思います。保育士の方と話をしている際、必要以上のことを言わない傾向がある。」などのほか、外部の取材への対応に関する記述が見られました。</p>				
15. 保育内容に関する職員の説明はわかりやすいか	21	11	10	1
<p>回答は、「はい」が21人(49%)、「どちらともいえない」が11人(26%)、「いいえ」が10人(23%)、無回答が1人(2%)でした。自由意見には、「説明は少なめだと思う、担任の先生も何のコメントもない日もあった。保育内容の目的だったり、成長が見られた場合連絡帳に書いていただけるとわかりやすいかと思う。何の説明もなく、お変わりなくだけで引き渡されることが多い。特別にこれに力を入れている、この遊び・体操をしている等の内容も全くわからない、もっと知りたい。」などの記述がありました。</p>				
16. 利用者の不満や要望は対応されているか	19	8	9	7
<p>回答は、「はい」が19人(44%、非該当の7人を除くと53%)、「どちらともいえない」が8人(19%)、「いいえ」が9人(21%)、非該当が7人(16%)でした。自由意見には「そこまで不満や要望を伝えた事がない。」のほか、「先生方の認識が統一されていない。要望を伝えても否定されてしまう。こちらの責任だと思われるように感じることもある。」などの記述がありました。</p>				
17. 外部の苦情窓口(行政や第三者委員等)にも相談できることを伝えられているか	13	8	8	14
<p>回答は、「はい」が13人(30%、非該当の14人を除くと45%)と少なく、「どちらともいえない」と「いいえ」が各8人(19%)、非該当が14人(33%)でした。自由意見には、「相談したことがないのでわからない。困って相談したことがない。職員や(運営会社)以外の窓口があるとは聞いていない。困っている時に職員以外の方を教えていただいたことがない。」などの記述がありました。</p>				

I 組織マネジメント項目(カテゴリ1～5、7、8)

No.	共通評価項目	
カテゴリ1		
1	リーダーシップと意思決定	
サブカテゴリ1(1-1)		
事業所が目指していることの実現に向けて一丸となっている		サブカテゴリ毎の 標準項目実施状況
		9/9
評価項目1 事業所が目指していること(理念、基本方針)を明確化・周知している		
評点(〇〇〇〇)		
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)を明示している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、職員の理解が深まるような取り組みを行っている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、利用者本人や家族等の理解が深まるような取り組みを行っている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 重要な意思決定や判断に迷ったときに、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)を思い起こすことができる取り組みを行っている(会議中に確認できるなど)	<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 経営層(運営管理者含む)は自らの役割と責任を職員に対して表明し、事業所をリードしている		
評点(〇〇)		
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 経営層は、自らの役割と責任を職員に伝えている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 経営層は、自らの役割と責任に基づいて行動している	<input type="radio"/> 非該当
評価項目3 重要な案件について、経営層(運営管理者含む)は実情を踏まえて意思決定し、その内容を関係者に周知している		
評点(〇〇〇)		
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 重要な案件を検討し、決定する手順があらかじめ決まっている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 重要な意思決定に関し、その内容と決定経緯について職員に周知している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 利用者等に対し、重要な案件に関する決定事項について、必要に応じてその内容と決定経緯を伝えて いる	<input type="radio"/> 非該当

カテゴリー1の講評

保育理念や保育方針、保育目標は、玄関などに掲示し周知しています

保育理念「すべての人が心ゆたかに生きることを願い今日の感動・満足・安心と明日への夢・希望を提供します。」、保育方針や保育目標(目指す子どもの姿)を、玄関や事務室に掲示しています。職員は出勤時必ず読むように決められている回覧冊子にも掲載し周知しています。「生活の手引き」(重要事項説明書)にも、保育理念、保育方針や保育目標(目指す子どもの姿)を掲載し、保護者に周知しています。園長や職員は、初任者研修や中堅研修などで理解を深めるとともに、本部の月例園長会議や園内の職員会議の際思い起すように努めています。

運営規定に園長の職務を定め、自ら職員会議などで役割と責任を伝えています

運営規定に園長の職務を規定しています。園長は、保育園の業務を統括し、預かった子どもの健康と安全に十分に配慮し、心身の健全な発育を促すとともに、保護者のニーズにできる限り応えるようにし、利用しやすい保育園を実現することを職務と定めています。園長は職員会議や昼礼などの機会に自らの役割と責任を伝えるとともに、「期待役割シート」をもとに職員と面接する際にも話しています。また、園長は本部の園長会議で社長から今後の方向性などを聞き、職員会議で職員に伝えています。

重要な案件の決定手順は決まっています、決定事項は職員会議や掲示物で周知しています

高額な備品などの購入は本部の決裁、クリスマス用玩具などの比較的低額なものは園長決裁と決まっています。本部決裁の場合、職員の意見をもとに話しあい起案し、園長が承認したのち、本部の部長に決裁を受けます。園内決裁の場合、職員が起案しリーダー会議や職員会議で検討したのち、園長が決裁する手順となっています。決定した案件は職員会議で経過報告を行い、緊急を要する場合は、昼礼やグループ会議、担当者会議で伝えています。保護者には、重要事項の変更や本部の通知などは、掲示物や配付文書、ブログなどで伝えています。

カテゴリ-2		
2	経営における社会的責任	
サブカテゴリ-1(2-1)		
社会人・福祉サービス事業者として守るべきことを明確にし、その達成に取り組んでいる		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 4/4
評価項目1 社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理などを周知している 評点(〇〇)		
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 福祉サービスに従事する者として、守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳)などを明示している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 全職員に対して、守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳)などの理解が深まるように取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 第三者による評価の結果公表、情報開示などにより、地域社会に対し、透明性の高い組織となっている 評点(〇〇)		
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 第三者による評価の結果公表、情報開示など外部の導入を図り、開かれた組織となるように取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 透明性を高めるために、地域の人の目にふれやすい方法(事業者便り・会報など)で地域社会に事業所に関する情報を開示している	<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリ-2(2-2)		
地域の福祉に役立つ取り組みを行っている		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 6/7
評価項目1 事業所の機能や福祉の専門性をいかした取り組みがある 評点(〇●)		
評価	標準項目	
<input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし	1. 事業所の機能や専門性は、利用者に支障のない範囲で地域の人に還元している(施設・備品等の開放、個別相談など)	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 地域の人や関係機関を対象に、事業所の機能や専門性をいかした企画・啓発活動(研修会の開催、講師派遣など)を行っている	<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 ボランティア受け入れに関する基本姿勢を明確にし、体制を確立している 評点(〇〇〇)		
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. ボランティアの受け入れに対する基本姿勢を明示している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. ボランティアの受け入れ体制を整備している(担当者の配置、手引き書の作成など)	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. ボランティアに利用者のプライバシーの尊重やその他の留意事項などを伝えている	<input type="radio"/> 非該当
評価項目3 地域の関係機関との連携を図っている 評点(〇〇)		
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 地域の関係機関のネットワーク(事業者連絡会など)に参画している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 地域ネットワーク内での共通課題について、協働して取り組めるような体制を整えている	<input type="radio"/> 非該当

カテゴリー2の講評

守るべき法・規範・倫理について、コンプライアンス・コードがあります

守るべき法・規範・倫理に関し、本部を含む全体のグループ企業行動憲章があり、この憲章を実践するためコンプライアンス・コードを定めています。前者は、企業理念のもとに、教育・情報・文化の分野で人々が求めている価値に応える行動を目指しています。後者は、サービスを提供するにあたっての顧客の安全性の確保や顧客の個人情報保護、社員との関係では人権尊重、労働関係法の遵守などを明記しています。コンプライアンス・コードは、職員全員に配付し、職員会議などで理解を深めています。

個別相談会や学習会を実施し、地域に開かれた保育園となるように取り組んでいます

見学会に来園した利用希望者などの個別相談を実施し、開かれた園となるように努めています。事業計画書や事業報告書を玄関に常備し、来園者が閲覧できるようにしています。園長が講師となって年間5回特別な配慮が必要な子どもの学習会を開催しています。現状、園庭開放や子育て相談・出前保育など地域の子育て家庭へ保育園が有する機能や専門性を還元する取り組みはまだ手がついていないとみられます。今後、地域の子育てニーズを踏まえた独自の取り組みや支援事業が期待されます。今回の第三者評価の結果を公表する予定です。

世田谷区民間保育園連盟や世田谷区砧地域園長会などに参加し、情報交換を行っています

世田谷区民間保育園連盟や世田谷区砧地域園長会に参加しています。世田谷民間保育園連盟には125の私立保育園が参加し、毎月会議を開催し、区や連盟各部門の連絡、話し合いを行っています。世田谷区砧地域園長会は、砧地域の30園が参加し、地域の情報交換や区への働きかけなどを話し合っています。世田谷区砧地域保育ネットには職員が参加し、外部の講師を招いた研修を受講しています。園長は気軽に情報交換が可能な園長会メーリングリストを活用して様々な情報を入手しています。

カテゴリ-3		
3 利用者意向や地域・事業環境の把握と活用		
サブカテゴリ-1(3-1)		
利用者意向や地域・事業環境に関する情報を収集・活用している		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 8/8
評価項目1 利用者一人ひとりの意向(意見・要望・苦情)を多様な方法で把握し、迅速に対応している(苦情解決制度を含む) 評点(〇〇)		
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 苦情解決制度を利用できることや事業者以外の相談先を遠慮なく利用できることを、利用者に伝えている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 利用者一人ひとりの意見・要望・苦情に対する解決に取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 利用者意向の集約・分析とサービス向上への活用に取り組んでいる 評点(〇〇〇)		
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 利用者アンケートなど、事業所側からの働きかけにより利用者の意向を把握することに取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 事業者が把握している利用者の意向を取りまとめ、利用者から見たサービスの現状・問題を把握している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 利用者の意向をサービス向上につなげることに取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
評価項目3 地域・事業環境に関する情報を収集し、状況を把握・分析している 評点(〇〇〇)		
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 地域の福祉ニーズの収集(地域での聞き取り、地域懇談会など)に取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 福祉事業全体の動向(行政や業界などの動き)の収集に取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 事業所としての今後のあり方の参考になるように、地域の福祉ニーズや福祉事業全体の動向を整理・分析している	<input type="radio"/> 非該当
カテゴリ-3の講評		
<p>苦情解決制度について、重要事項説明書で説明し、チャートを玄関に掲示しています</p> <p>「生活の手引き」(重要事項説明書)に苦情解決制度を利用できることや外部の相談窓口を記載し、保護者へ伝えています。玄関に、「ココファン・ナーサリー砧苦情の流れ」を掲示しています。苦情解決責任者は園長、苦情受付担当者は主任とし、第三者委員は民生委員と福祉施設長に委嘱しています。今回の利用者調査で、「外部の苦情窓口にも相談できることを伝えられているか」という質問(問10)に対し、「はい」と答えた人の割合は低い結果でした。今後、様々な機会を利用して第三者委員その他外部の窓口を紹介する取り組みが期待されます。</p> <p>アンケートや連絡帳など様々な方法で保護者の意見・要望を収集し対応しています</p> <p>運動会などの主要な行事の都度アンケートを実施し、保護者の感想や意見・要望を聞いています。保護者との個人面談で寄せられた意見や要望を集約し、また、日々の連絡帳から保護者の意向を汲み取っています。意見箱を玄関に設置していますが、保護者からは直接口頭で意見や要望が述べられるケースが多くなっています。把握した意見・要望は、内容によっては本部に相談したり、園内で職員会議において検討し解決に取り組むなど迅速な対応を心がけています。</p> <p>世田谷区民間保育園連盟や世田谷区砧地域園長会に参加し、福祉ニーズを収集しています</p> <p>地域の保育ニーズは、主として世田谷区保育園連盟会議や砧地域園長会において、区の連絡事項や地域の園長との意見交換を通して収集しています。砧地域保育ネットには主に職員が参加し、いろいろな研修などを通して福祉ニーズを収集しています。また、園長は園長会メーリングリストを利用して様々な情報交換を行っています。福祉事業全体の動向は、本部の園長会や傘下のブロック園長会で入手しています。今後、高齢者との世代間交流や地域団体との交流会など子どもの生活の幅を広げる観点から取り組むことが期待されます。</p>		

カテゴリ-4		
4	計画の策定と着実な実行	
サブカテゴリ-1(4-1)		
実践的な課題・計画策定に取り組んでいる		サブカテゴリ毎の 標準項目実施状況 11/11
評価項目1 取り組み期間に応じた課題・計画を策定している		
評点(000)		
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 理念・ビジョンの実現に向けた中・長期計画を策定している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 年度単位の計画を策定している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 短期の活動についても、計画的(担当者・スケジュールの設定など)に取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 多角的な視点から課題を把握し、計画を策定している		
評点(0000)		
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 課題の明確化、計画策定の時期や手順があらかじめ決まっている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 課題の明確化、計画の策定にあたり、現場の意向を反映できるようにしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 計画は、サービスの現状(利用者意向、地域の福祉ニーズや事業環境など)を踏まえて策定している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 計画は、想定されるリスク(利用者への影響、職員への業務負担、必要経費の増大など)を踏まえて策定している	<input type="radio"/> 非該当
評価項目3 着実な計画の実行に取り組んでいる		
評点(0000)		
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 計画推進の方法(体制、職員の役割や活動内容など)を明示している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 計画推進にあたり、より高い成果が得られるように事業所内外の先進事例・失敗事例を参考にするなど の取り組みを行っている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 計画推進にあたり、目指す目標と達成度合いを測る指標を明示している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 計画推進にあたり、進捗状況を確認し(半期・月単位など)、必要に応じて見直しをしながら取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当

サブカテゴリ-2(4-2)

利用者の安全の確保・向上に計画的に取り組んでいる	サブカテゴリ毎の 標準項目実施状況	4/4
評価項目1 利用者の安全の確保・向上に計画的に取り組んでいる		
評点(〇〇〇〇)		

評価	標準項目	
● あり ○ なし	1. 利用者の安全の確保・向上を図るため、関係機関との連携や事業所内の役割分担を明示している	○ 非該当
● あり ○ なし	2. 事故、感染症、侵入、災害などの事例や情報を組織として収集し、予防対策を策定している	○ 非該当
● あり ○ なし	3. 事故、感染症、侵入、災害などの発生時でもサービス提供が継続できるよう、職員、利用者、関係機関などに具体的な活動内容が伝わっている	○ 非該当
● あり ○ なし	4. 事故、感染症、侵入などの被害が発生したときは、要因を分析し、再発防止に取り組んでいる	○ 非該当

カテゴリ-4の講評

2017年から2019年までの3か年計画を策定しています
 本部は、2016年～2020年の5か年計画を策定しています。企業理念を実現するため、2016年の準備段階、2018年の中間段階、そして計画実現に向けた段階へ進める計画です。本部の計画を踏まえ、保育園は2017年から2019年までの3か年計画を策定しています。本年度の計画には、グループが目指す「子どもの姿」に導くための具体的な保育の実践、新卒職員の保育業務の習得など職員の育成、保育所保育指針改定に伴う研修の実施、園庭開放、空調機・調理機のメンテナンスなどを挙げて、取り組んでいます。

資質向上チームを立ち上げ、中長期計画に掲げた職員育成に取り組んでいます
 資質向上チームを立ち上げ中長期計画に掲げた職員育成に取り組んでいます。資質向上チームは、職員育成を目的とし、従来のトップダウンの計画実行から職員によるボトムアップ方式の実行へ切り替え、職員の育成を図りながら、組織力のアップを目指しています。A・B・C3チームからなり、1チームは6人で構成しています。各チームは、保育園の目指すゴールイメージを作成し、チーム目標やメンバーの個人目標を決めています。終了後、個人ごとに「自分はどのように行動したか」を振り返り、達成状況を確認しています。

毎月の避難訓練や不審者対応訓練を、職員の役割分担を決めて実施しています
 毎月の避難訓練では、職員の役割分担を決め、実施状況を振り返り、報告書を作成しています。消防署の消防点検を受けるとともに、避難訓練の状況の評価をもらい、また、AED講習も受けています。不審者の侵入に備え、役割分担、対応手順や方法を決め、訓練を行っています。ケガなどを未然に防げたヒヤリハットや発生した事故について、それぞれ屋礼や職員会議などで報告し、例えば、ヒヤリハット事例で、けんかとなり相手の腕をかんだ、ポットの取っ手が折れた、給食の鮭に骨が残っていたなど、それぞれ予防や再発防止に生かしていました。

カテゴリー5		
5 職員と組織の能力向上		
サブカテゴリー1(5-1)		
事業所が目指している経営・サービスを実現する人材の確保・育成に取り組んでいる		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 8/8
評価項目1 事業所にとって必要な人材構成にしている		評点(000)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所の人事制度に関する方針(人材像、職員育成・評価の考え方)を明示している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 事業所が必要とする人材を踏まえた採用を行っている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 適材適所の人員配置に取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 職員の質の向上に取り組んでいる		評点(00000)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 職員一人ひとりの能力向上に関する希望を把握している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 事業所の人材育成計画と職員一人ひとりの意向に基づき、個人別の育成(研修)計画を策定している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 個人別の育成(研修)計画は、職員の技術水準、知識、専門資格の習得(取得)などの視点を入れて策定している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 職員一人ひとりの個人別の育成(研修)計画に基づいて、必要な支援をしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 職員の研修成果を確認し(研修時・研修直後・研修数ヶ月後など)、研修が本人の育成に役立ったかを確認している	<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリー2(5-2)		
職員一人ひとりと組織力の発揮に取り組んでいる		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 7/7
評価項目1 職員一人ひとりの主体的な判断・行動と組織としての学びに取り組んでいる		評点(000)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 職員の判断で実施可能な範囲と、それを超えた場合の対応方法を明示している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 職員一人ひとりの日頃の気づきや工夫について、互いに学ぶことに取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 職員一人ひとりの研修成果を、レポートや発表等で共有化に取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当

評価項目2

職員のやる気向上に取り組んでいる

評点(〇〇〇〇)

評価	標準項目	
● あり ○ なし	1. 事業所の特性を踏まえ、職員の育成・評価・報酬(賃金、昇進・昇格、賞賛など)が連動した人材マネジメントを行っている	○ 非該当
● あり ○ なし	2. 就業状況(勤務時間や休暇取得、疲労・ストレスなど)を把握し、改善に取り組んでいる	○ 非該当
● あり ○ なし	3. 職員の意識を把握し、やる気と働きがいの向上に取り組んでいる	○ 非該当
● あり ○ なし	4. 福利厚生制度の充実に取り組んでいる	○ 非該当

カテゴリー5の講評

人事に関し、職務成果主義のもとに「期待役割シート」で評価を行っています

人事に関し、職務成果主義のもとに、「期待役割シート」で評価します。期待役割シートは、クラスリーダーや保育士、保育補助、調理師などの職務ごとに作成しています。職員の理念浸透・実践や結果業績、業務改善・改革などの期待役割(88項目)について、園長が職員と面接を行い、期首、中間、期末に本人評価及び上長評価を行い、すり合せて結果を出しています。常勤職員の採用は、園長が面接し、本部の試験と役員面接を経て決定しています。非常勤職員の採用は、園長が面接したうえで本部に申請しています。

職員の能力向上のため、研修制度やコーチ制度の活用を力を入れています

職員一人一人の能力向上に関する希望は、主として期待役割シートにより、年2回5月と11月の面談で把握します。職員は勤務部門や部署の異動を希望する場合は、職務申告書を提出します。研修計画は園長と主任が、職員一人一人の意向に基づき作成しています。研修受講者は、報告書を提出するとともに、研修内容を職員会議で報告し共有を図っています。新入職員の育成に、コーチ制度を活用し、新入職員に先輩職員がつきペアになって業務を指導し、毎週1回面談して成果を確認しています。

資質向上チームを立ち上げ、参考図書を整備して、職員の能力向上に取り組んでいます

職員が組織的に働けるように資質向上チームを作っています。職員を3つのチームに分け、チームごとに保育園の目指すゴールイメージを描き、例えば、ゴールイメージとして「子どもの人権を守る、大人も子どもも心地よい環境をつくる」掲げ、チーム目標、個人目標を立てて実行し、振り返り、達成状況を評価しています。園長は、事務室に、叱り方教科書をはじめ、境界性パーソナリティ障害のことがよくわかる本、自閉症への親の支援など保育に関する多数の本を揃えて、職員へ学習することを推奨しています。

カテゴリ-8

8 カテゴリ-1～7に関する活動成果

サブカテゴリ-1(8-1)

前年度と比べ、事業所の方向性の明確化や関係者への周知、地域・社会への責任の面で向上している

評価項目1

前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、以下のカテゴリで評価される部分について、改善を行い成果が上がっている
 ・カテゴリ-1:「リーダーシップと意思決定」
 ・カテゴリ-2:「経営における社会的責任」
 ・カテゴリ-4:「計画の策定と着実な実行」

- 改善に向けた計画的な取り組みが行われており、成果として現れている
- 改善に向けた計画的な取り組みが行われているが、成果としては現れていない
- 改善に向けた計画的な取り組みが行われていない

改善の成果

重要な案件を決定する手順を見直し、園長のリーダーシップのもとにルールを定めました

園内の重要な案件を決定する手順を見直し、園長のリーダーシップのもとに正式のミーティングで検討の上決定することを基本として会議の開催と時間の厳守その他ルールを定め、実施しました。

サブカテゴリ-2(8-2)

前年度と比べ、職員と組織の能力の面で向上している

評価項目1

前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、以下のカテゴリで評価される部分について、改善を行い成果が上がっている
 ・カテゴリ-5:「職員と組織の能力向上」

- 改善に向けた計画的な取り組みが行われており、成果として現れている
- 改善に向けた計画的な取り組みが行われているが、成果としては現れていない
- 改善に向けた計画的な取り組みが行われていない

改善の成果

特別な配慮が必要な子どもを理解するため、参考図書を整備し学習環境を整えました

- ①特別な配慮が必要な子どもについて、職員の知識と保育技術を向上させるため、参考図書を整備し学習を推奨した結果、職員の発達障害をもつ子どもについての知識と保育技術の習得が進み、発達障害の子どもに対し配慮できるようになっています。
- ②外部研修へ参加しやすいように勤務時間を調整しました。
- ③中長期計画に位置付けた職員育成に因るため、資質向上チームによる課題解決に取り組んだ結果、職員の能力が向上したり、互いの良好な関係を築いたりしています。

サブカテゴリ-3(8-3)

前年度と比べ、福祉サービス提供プロセスや情報保護・共有の面において向上している

評価項目1

前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、以下のカテゴリで評価される部分について、改善を行い成果が上がっている
 ・カテゴリ-6:「サービス提供のプロセス」
 ・カテゴリ-7:「情報の保護・共有」

- 改善に向けた計画的な取り組みが行われており、成果として現れている
- 改善に向けた計画的な取り組みが行われているが、成果としては現れていない
- 改善に向けた計画的な取り組みが行われていない

改善の成果

仕事に入る前に、延長簿などの確認が習慣化でき、情報の共有ができるようになりました

- ①職員の特別な配慮が必要な子どもや家族への理解が深まり、支援が向上するとともに、家族へのおたよりなども工夫し情報がきちんと伝わるようになりました。
- ②保健便りなどのお知らせの構成などを保護者の特性に合わせて変更しました。
- ③仕事に入る前に、各種の記録簿を確認する習慣が確立し、情報共有が行き届くようになりました。
- ④情報の外部流出を防ぐためにカメラの管理体制を強化しました。チェック表で使用者を確認するとともに、鍵のかかる書庫に収納・保管しています。
- ⑤大容量ファイルの送信・保管が可能なシステムを利用し、本部との情報の共有が可能となっています。

サブカテゴリ-4(8-4)

事業所の財政等において向上している

評価項目1

財政状態や収支バランスの改善へ向けた計画的かつ主体的な取り組みにより成果が上がっている

- 改善に向けた計画的な取り組みが行われており、成果として現れている
- 改善に向けた計画的な取り組みが行われているが、成果としては現れていない
- 改善に向けた計画的な取り組みが行われていない

改善の成果

補助金収入を見直し、コスト意識を養って、計画通りの余剰を確保しています

- ①収入面で、補助金の収入状況を点検し補助金を完全に受け取れるように改善し収入の増加を図りました。
- ②支出面は、コストの削減に努めました。昼礼などの機会に、職員へ保育園の経費について話し、「これはまだまだ使える。冷暖房の使い方。食材など安くてよいものはないか。」などコスト意識を養って物品を購入しています。
- ③収支のバランスは良く、余剰を確保しています。

サブカテゴリ-5(8-5)

前年度と比べ、利用者満足や利用者意向の把握等の面で向上している

評価項目1

前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、利用者満足や以下のカテゴリで評価される部分において改善傾向を示している
・カテゴリ-3:「利用者意向や地域・事業環境などの把握と活用」

- 改善に向けた計画的な取り組みが行われており、成果として現れている
- 改善に向けた計画的な取り組みが行われているが、成果としては現れていない
- 改善に向けた計画的な取り組みが行われていない

改善の成果

アンケートなどで利用者の意向を把握し、信頼関係の構築に努めています

- ①職員が子どもや保護者と笑顔で接するようにして、親しい関係を築こうと努めています。
- ②運動会などの行事の都度、保護者アンケートを実施し、保護者の意向を把握するように努めています。
- ③ホームページのブログで、保護者に子どもの様子をつたえ、信頼関係を築くことに努めています。

Ⅱ サービス提供のプロセス項目(カテゴリ-6-1～3、6-5～6)

No.	共通評価項目	
サブカテゴリ-1		
1	サービス情報の提供	サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 4/4
評価項目1 利用希望者等に対してサービスの情報を提供している		評点(〇〇〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 利用希望者等が入手できる媒体で、事業所の情報を提供している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 利用希望者等の特性を考慮し、提供する情報の表記や内容をわかりやすいものになっている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 事業所の情報を、行政や関係機関等に提供している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 利用希望者等の問い合わせや見学の要望があった場合には、個別の状況に応じて対応している	<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリ-1の講評		
<p>利用希望者に必要な保育園の情報をホームページで発信しています</p> <p>本部のホームページから保育園を紹介するページにつながっています。保育理念をはじめ、保育方針や保育目標(目指すこどもの姿)・園児定員・職員数や開園時間などを確認できます。また、0歳児、1・2歳児、3歳以上の1日の開園から閉園までの活動の流れや年間の行事予定を紹介しています。「子どもの持っている『育ちのチカラ』を伸ばします」とし、保育園の生活を写真を掲載して分かりやすく発信しています。世田谷区のホームページとリンクしています。保育園の空き情報を本部に報告し、随時更新しています。</p> <p>区のホームページから園のホームページにリンクしており情報を確認することができます</p> <p>区のホームページにリンクしており、利用希望者などが必要とする情報を得ることができます。ホームページの「入園をご検討中のみなさまへ」というページから、入園に関する情報が得られます。お問い合わせでは、Q&Aコーナーもあります。また、A4サイズ・三つ折りのリーフレット「園のご案内」を用意し、年度毎に作りかえています。保育園の開園日、対象年齢、歳児別定員、職員配置、開園時間、延長保育・一時保育・子育て相談事業などを確認することができます。このほか、入園申込みや選考、延長保育の利用などについても確認できます。</p> <p>問い合わせや見学希望はホームページから受け付けて対応しています</p> <p>保育園への問い合わせや見学は、ホームページから申込みことになっています。申し込まれた利用希望者には保育園で調整し日時を決めて個別に返信メールを送っています。本年度は、6月から各月の土曜日に1日当たり20組以上を受け付けています。園長が保育園の理念や保育方針など説明しながら園内を案内し、リーフレット「園のご案内」を手渡しています。今後、保育園の問い合わせや見学の申し込みをホームページからのみではなく、電話等での受け付け及び利用希望者の都合などを考慮して決定することが期待されます。</p>		
サブカテゴリ-2		
2	サービスの開始・終了時の対応	サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 6/6
評価項目1 サービスの開始にあたり保護者に説明し、同意を得ている		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. サービスの開始にあたり、基本的ルール、重要事項等を保護者の状況に応じて説明している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. サービス内容について、保護者の同意を得るようにしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. サービスに関する説明の際に、保護者の意向を確認し、記録化している	<input type="radio"/> 非該当

評価項目2 サービスの開始及び終了の際に、環境変化に対応できるよう支援を行っている		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. サービス開始時に、子どもの保育に必要な個別事情や要望を決められた書式に記録し、把握している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 利用開始直後には、子どもの不安やストレスが軽減されるように支援を行っている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. サービスの終了時には、子どもや保護者の不安を軽減し、支援の継続性に配慮した支援を行っている	<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリー2の講評		
<p>入園説明会を開催し、基本的なルールや重要事項などを説明しています</p> <p>入園が内定した利用者には入園説明会を開催し、「生活の手引き」(重要事項説明書)を配付して、子どもが保育園で生活するために必要な手続き、登園・降園、一年間の行事予定、子どもの服装、病気やけがの時の対応、健康診断・健診カード、個別の面談、運営委員会などについて丁寧に説明しています。個人情報保護方針やプライバシーポリシーに関し、行事のビデオ・写真等の記録の管理、ホームページの子どもの写真掲載などを説明し、保護者の同意を得ています。</p> <p>入園当初の子どものストレスや不安を和らげるため、慣れ保育などを行っています</p> <p>入園時、保護者に子どもの成育歴、食事・食物アレルギー対応など子どもの状況を児童票に記載してもらいます。入園当初、子どもが保育園の生活に慣れていけるように慣れ保育を実施しています。子どもの状況を見ながら1週間位を目安に生活の時間を徐々に長くしていきます。1日目は親子一緒に、2日目は昼食の前まで、3日目は昼食・午睡・おやつまでと安心して生活できるように進めます。ミルクアレルギーや哺乳瓶に慣れない乳児にはスプーンで対応するなどしています。できるだけクラス担当が係わり、安心して過ごせるように配慮しています。</p> <p>卒園時などには、保護者の不安を軽減して支援の継続性に配慮しています</p> <p>家族の転居などで中途退園した子どもの保護者に、退園後も継続的に相談に応じています。就学を迎える子どもには、小学校と連絡して見学や体験を行っています。就学期が近づくと、午睡をやめて小学校の生活時間に合わせていきます。学習教材を使って字を覚えたりしています。保育園から、園での子どもの様子をまとめて保育要録を作成し、就学先の小学校へ届けています。小学校の教諭も子どもの様子を見るため保育園を訪問しています。</p>		
サブカテゴリー3		
3	個別状況に応じた計画策定・記録	サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 12/12
評価項目1 定められた手順に従ってアセスメント(情報収集、分析および課題設定)を行い、子どもの課題を個別のサービス場面ごとに明示している		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 子どもの心身状況や生活状況等を、組織が定めた統一した様式によって記録し把握している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもや保護者のニーズや課題を明示する手続きを定め、記録している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. アセスメントの定期的見直しの時期と手順を定めている	<input type="radio"/> 非該当

評価項目2 保育課程や子どもの様子を踏まえた指導計画を作成している		評点(〇〇〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 指導計画は、保育課程を踏まえて、養護(生命の保持・情緒の安定)と教育(健康・人間関係・環境・言葉・表現)の各領域を考慮して作成している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 指導計画は、子どもの実態や子どもを取り巻く状況の変化に即して、作成、見直しをしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 個別的な計画が必要な子どもに対し、子どもの状況(年齢・発達の状況など)に応じて、個別的な計画の作成、見直しをしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 指導計画を保護者にわかりやすく説明している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 指導計画は、見直しの時期・手順等の基準を定め、必要に応じて見直しをしている	<input type="radio"/> 非該当

評価項目3 子どもに関する記録が行われ、管理体制を確立している		評点(〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 子ども一人ひとりに関する必要な情報を記載するしくみがある	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 指導計画に沿った具体的な保育内容と、その結果子どもの状態がどのように推移したのかについて具体的に記録している	<input type="radio"/> 非該当

評価項目4 子どもの状況等に関する情報を職員間で共有化している		評点(〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 指導計画の内容や個人の記録を、保育を担当する職員すべてが共有し、活用している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 申し送り・引継ぎ等により、子どもや保護者の状況に変化があった場合の情報を職員間で共有化している	<input type="radio"/> 非該当

サブカテゴリ3の講評

子どもの心身状況や生活状況は保育園で定めた様式に記録しています

児童票に成育歴や病歴などを記入し、入園前に提出してもらいます。登・降園時、保護者との連絡帳や連絡ノート、会話の中で子どもの様子を把握しています。日・週・月・年間保育指導計画及び経過記録を作成しています。週案には保育のねらい・家庭との連絡事項・活動の様子を記録しています。保育の様子を記録し、週末に週案評価・反省を行います。経過記録に、0・1・2歳児は個別に月毎の子どもの姿を、幼児は期毎の子どもの姿をそれぞれ記録します。連絡ノートに子どもの姿を記載して家庭に知らせています。

保育課程に沿って子どもの様子を踏まえた指導計画を作成しています

保育課程の養護・教育の各領域に沿って年・月・週の指導計画を作成しています。月間保育指導計画に基づいて、週案に週の活動の様子を記録し自己評価を行っています。職員で振り返り、次週の計画をつなげます。1歳児の教育／環境領域で「保育士との関わりやスキンシップから心地よさや安心感を得て自分の思いを現わしていく。一人一人の生活リズムを大切にしながら安心して睡眠が取れるようになっていく。」とし、2週間後の振り返りに「睡眠・食事、少しずつ保育士のスキンシップやかかわりの中で安心していく」と記録が見られました。

子どもに関する記録を管理し、職員間で共有して支援を行っています

子どもに関する必要な情報を記録しています。個人ファイルに、児童票や家庭状況・生活状況・同意書・健康診断票などを綴じています。「緊急連絡カード」に、病気やけが・事故に対応する態勢を明示しています。各計画案について職員会議で話しあい、情報を共有しています。指導計画に沿った具体的な支援内容とその結果について、週日案に保育状況を記録し、昼礼や乳幼児会議で話しあっています。保育中の怪我は、受傷連絡票に記載し保護者へ直接伝えていきます。保護者と情報を共有し一人一人に合った保育の実施に努めています。

サブカテゴリー5		
5	プライバシーの保護等個人の尊厳の尊重	サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 7/7
評価項目1 子どものプライバシー保護を徹底している		評点(〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 子どもに関する情報(事項)を外部とやりとりする必要がある場合には、保護者の同意を得るようにしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもの羞恥心に配慮した保育を行っている	<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 サービスの実施にあたり、子どもの権利を守り、子どもの意思を尊重している		評点(〇〇〇〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 日常の保育の中で子ども一人ひとりを尊重している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもと保護者の価値観や生活習慣に配慮した保育を行っている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 虐待防止や育児困難家庭への支援に向けて、職員の勉強会・研修会を実施し理解を深めている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 子どもの気持ちを傷つけるような職員の言動、虐待が行われることのないよう、職員が相互に日常の言動を振り返り、組織的に防止対策を徹底している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 虐待を受けている疑いのある子どもの情報を得たときや、虐待の事実を把握した際には、組織として関係機関に連絡し、その後も連携できるような体制を整えている	<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリー5の講評		
<p>子どものプライバシー保護については入園時に保護者に説明し同意を得ています</p> <p>保育を実施するうえで個人や家族の個人情報の取得は、業務上必要な範囲に限っています。運動会や発表会などのビデオ・写真を子どもの適切な成長に役立つとして必要な範囲で撮影しています。記録を希望しない保護者には、事前・事後に係わらず申し出てもらい、消去や掲示・配付を控えるとともに、ホームページでは特定できないように修飾しています。ブログには日常の子どもの様子を撮影してコメントを添えて保護者に公開しています。これらの個人情報については、入園時に個人情報とブログ掲載・閲覧について保護者の承諾を得ています。</p> <p>子どもの羞恥心に配慮し、保育を実践しています</p> <p>日常生活の場面で一人一人の子どもの羞恥心に細やかに配慮して保育を行っています。例えば、おむつ替えは入口に向かっては行わないように心がけています。戸外活動後や午睡前後の着替えをするときは、上下を一遍には脱がず、上を脱いだら着て、下を脱いだら履いてというように手順を決めています。着替え時は男女の間に仕切りを設け、窓はカーテンを引き外から見えないようにするなど配慮を徹底しています。排尿に失敗したときは、他の子どもにわからないように手早く着替えています。</p> <p>虐待児防止のため勉強会や仕組みを整え、子どもの権利を守っています</p> <p>虐待防止のため、入園時の説明会で「生活の手引き」(重要事項説明書)を資料として説明しています。①人権の擁護、虐待の防止に関する必要な体制の整備、②職員による子どもに対する虐待等の行為の禁止、③虐待の防止、人権に関する啓発のための職員に対する研修の実施、④その他虐待防止のために必要な措置を講ずることを決めています。職員または養育者による虐待が疑われる子どもを発見したときは、速やかに区子ども家庭支援課や児童相談所などの関係機関に通報するなど対応の仕組みを整えています。</p>		

サブカテゴリ-6

6 事業所業務の標準化

サブカテゴリ毎の
標準項目実施状況

11/11

評価項目1

手引書等を整備し、事業所業務の標準化を図るための取り組みをしている

評点(000)

評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 手引書(基準書、手順書、マニュアル)等で、事業所が提供しているサービスの基本事項や手順等を明確にしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 提供しているサービスが定められた基本事項や手順等に沿っているかどうか定期的に点検・見直しをしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 職員は、わからないことが起きた際や業務点検の手段として、日常的に手引書等を活用している	<input type="radio"/> 非該当

評価項目2

サービスの向上をめざして、事業所の標準的な業務水準を見直す取り組みをしている

評点(000)

評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 提供しているサービスの基本事項や手順等は変更の時期や見直しの基準が定められている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 提供しているサービスの基本事項や手順等の見直しにあたり、職員や保護者等からの意見や提案、子どもの様子を反映するようにしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 職員一人ひとりが工夫・改善したサービス事例などをもとに、基本事項や手順等の改善に取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当

評価項目3

さまざまな取り組みにより、業務の一定水準を確保している

評点(00000)

評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 打ち合わせや会議等の機会を通じて、サービスの基本事項や手順等が職員全体に行き渡るようにしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 職員が一定レベルの知識や技術を学べるような機会を提供している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 職員全員が、子どもの安全性に配慮した保育ができるようにしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 職員一人ひとりのサービス提供の方法について、指導者が助言・指導している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 職員は、わからないことが起きた際に、指導者や先輩等に相談し、助言を受けている	<input type="radio"/> 非該当

サブカテゴリ6の講評

保育業務の標準化を図るため、マニュアル類の整備が期待されます

「生活の手びき」に、ココファン・ナーサリーの取り組みで、家庭との連携を大切にし、子どもが本来持っている「育ちのチカラ」を伸ばし、子どもの主体的な活動を援助する養育と教育を一体化した保育を行うとしています。この生活の手引きを日常業務に活用し、サービスの基本事項や手順が全体に行き渡るようにしています。登・降園時に子どもの状況に変化があれば昼礼や連絡ノートでクラス担当に引き継ぎ、昼礼の記録や回覧ファイルは職員の見えるところへ掲示するなど、情報共有を徹底しています。今後、保育園のマニュアル類の整備が期待されます。

保育業務の見直しを行い、保育水準の向上に努めています

年度末に年間指導計画を振り返り、子どもの姿を把握し、新年度に向けて新たな計画を作成します。「生活の手引き」は年度ごとに見直し更新しています。事務室に発達障害などの参考図書を整備し、職員は特別な配慮が必要な子どもの特性や配慮事項を学習しています。保育室の環境を刺激を与えないように工夫し、園だよりなどの通知も改良しました。「お散歩チェック表」を作成し、クラス、人数、引率職員、出発・帰園時刻などを記録しています。「安全・衛生点検チェック表」で、園庭・廊下・保育室・トイレ・園舎周辺などを点検し記録しています。

さまざまな取り組みにより職員の資質向上を図っています

職員全員が子どもの安全性に配慮した支援に努めています。「事故防止チェックリスト」(50項目)で子どもの安全を定期的に点検しています。2歳児用リストには、はさみやカッターなどの刃物は使用前後に数を確認するという項目を入れるなど、安全性確保を徹底しています。新人研修では、コーチ制度により保育士や栄養士の職員は先輩職員から個別指導を受けています。職員は、本部や園内、外部の研修を受講し、業務水準の維持・向上に努めています。「世田谷区保育の質ガイドライン」によりセルフチェックリストを作成し業務に生かしています。

Ⅲ サービスの実施項目(カテゴリー6-4)

		サブカテゴリー4	
サービスの実施項目		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況	34 / 35
1 評価項目1 子ども一人ひとりの発達の状態に応じた保育を行っている		評点(〇〇〇〇〇〇)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 発達の過程や生活環境などにより、子ども一人ひとりの全体的な姿を把握したうえで保育を行っている		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもが主体的に周囲の人・もの・ことに興味や関心を持ち、働きかけができるよう、環境を工夫している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 子ども同士が年齢や文化・習慣の違いなどを認め合い、互いを尊重する心が育つよう配慮している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 特別な配慮が必要な子ども(障害のある子どもを含む)の保育にあたっては、他の子どもとの生活を通して共に成長できるよう援助している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 発達の過程で生じる子ども同士のトラブル(けんか・かみつき等)に対し、子どもの気持ちを尊重した対応をしている		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	6. 【5歳児の定員を設けている保育所のみ】 小学校教育への円滑な接続に向け、小学校と連携をとって、援助している		<input type="radio"/> 非該当
評価項目1の講評			
<p>発達過程や家庭環境など子どもの全体的な姿を把握し保育を行っています</p> <p>入園時に保護者から子どもの成育歴などを記入した児童票を提出してもらいます。登降園時に家庭での子どもの様子を把握しています。保育園は、年間保育指導計画・月間保育指導計画・週案を作成し、子どもの様子を日誌に記録し、週末に振り返り、新たなねらいのもとに子どもが健やかに育まれるように保育を行っています。0・1・2歳児は個別計画を作成し月ごとに自己評価を行い、年間計画は四半期ごと自己評価を行っています。子どもの経過記録には5領域で成長・発達のできた年月などを記録するなど子どもの姿を把握しながら保育を行っています。</p> <p>子どもが主体的に興味を持てる環境(人・もの・空間)を工夫しています</p> <p>本部が保育園の「育ちのチカラ」をサポートする「学研アプローチ」を推進しています。子どもが主体性を持てるような環境や一人一人に合った目標を設定し、子どもが本来持っている力を引き出そうとするものです。片づけや着脱・発達段階に応じたおもちゃなどを用意し手先を使う玩具などで集中力を高めたりすることができます。子どもが周囲のものに関心を持つ、興味のあるものを見つけて手にしようとするなど子どもが主体的に働きかけられる環境(人・もの・空間)設定と職員が子どもの様子を見守ることができるような設定を実践しています。</p> <p>子ども同士のトラブルに対して子どもの気持ちを尊重した対応をしています</p> <p>子ども同士のけんかがあった場合互いの気持ちを伝え気持ちに配慮した言葉かけを心がけています。今回の利用者調査で「子ども同士のトラブルに関する対応は信頼できるか」(問12)の回答から保護者の多様な受け止め方がうかがえるなか、「双方の意見を聞き、いけないことを伝えて子どもが納得していた。」という記述もありました。訪問調査の日、職員がトラブルに関係した子どもを集め、互いの気持ちに配慮して「されたら嫌でしょう」と話し、子どもたちも納得している様子が見られるなど、子どもの気持ちを尊重した対応がうかがえました。</p>			
2 評価項目2 子どもの生活が安定するよう、子ども一人ひとりの生活のリズムに配慮した保育を行っている		評点(〇〇〇〇)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 登園時に、家庭での子どもの様子を保護者に確認している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 発達の状態に応じ、食事・排せつなどの基本的な生活習慣の大切さを伝え、身につくよう援助している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 休息(昼寝を含む)の長さや時間帯は子どもの状況に配慮している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 降園時に、その日の子どもの状況を保護者一人ひとりに直接伝えている		<input type="radio"/> 非該当

評価項目2の講評

登園時、クラス別「登園チェック表」に保護者から聞き取った内容を記録しています

朝7時15分から子どもを受け入れます。0歳児から5歳児まで、1階の2歳児の保育室で受け入れます(0歳児は6月までは0歳児室)。職員は7時45分まで3人、保護者から子どもの健康状態や生活の様子を聞き、クラス別「登園チェック表」に記録します。0～2歳児は、保護者がその場で検温し職員に伝えます。子どもは、コーナーに分けられたブロックやままごと、絵本など好きな場所で職員に見守られお話をしながら過ごしています。次第に増えていく子どもたちが仲良く遊べるように穏やかに目を配り支援を行う職員の姿が見られました。

基本的な生活習慣は、絵本や遊びに取り入れ、身につくように指導しています

3歳児クラス11人の昼食の様子を観察しました。散歩から戻り、衣服を着替え、脱いだ衣服をたたみ、ビニール袋にしまいました。手洗い後食卓に座って配膳を待ち、みんなでいただきますを言って食べ始めました。フォークや箸で副菜、味噌汁、ごはんと順番に食べ、終わると滑り止めシートを貼ったトレイで食器を自分で片づけ、うがいをするまでの一連の所作を、職員が見守り、声かけするなかでできていました。手洗いやうがい、排泄などの基本的な生活習慣も、絵本を利用したり、遊びの場面で取り入れたり、大切さを学びながら身につけています。

降園時は、その日の子どもの様子を連絡帳や掲示、ブログなどで保護者に知らせています

一日の子どもの様子は、0～2歳児は個々の連絡帳に記載し、3～5歳児は「活動のおしらせ」と題して廊下に掲示し、個別に連絡が必要な時のみ「連絡ノート」を使い双方で情報を共有します。保育中の軽い怪我は「受傷票」に怪我の部位や時間、経過などを記入して手渡し、保護者にわかりやすくしています。行事や保育の様子をブログでも見るできるように発信しています。今回の利用者調査では、「保育内容に関する説明はわかりやすいか」(問15)に対し、「はい」と答えた人は21人(49%)にとどまりました。さらなる工夫が期待されます。

3 評価項目3

日常の保育を通して、子どもの生活や遊びが豊かに展開されるよう工夫している

評点(○○○○○○)

評価	標準項目	
● あり ○ なし	1. 子どもの自主性、自発性を尊重し、遊びこめる時間と空間の配慮をしている	○ 非該当
● あり ○ なし	2. 子どもが、集団活動に主体的に関われるよう援助している	○ 非該当
● あり ○ なし	3. 子ども一人ひとりの状況に応じて、子どもが言葉による伝え合いを楽しみ、言葉に対する感覚を養えるよう配慮している	○ 非該当
● あり ○ なし	4. 子どもが様々な表現を楽しめるようにしている	○ 非該当
● あり ○ なし	5. 戸外・園外活動には、季節の移り変わりなどを感じとることができるような視点を取り入れている	○ 非該当
● あり ○ なし	6. 生活や遊びを通して、子どもがぎまりの大切さに気付き、自分の気持ちを調整する力を育てられるよう、配慮している	○ 非該当

評価項目3の講評

年齢別の玩具コーナーや計画的なカリキュラムの設定で自主性・主体性を育てています

子どもの遊ぶ様子からトラブルを少なくする必要を感じ、年齢に合った玩具コーナーを設け、自分の好きな玩具を選んで遊び込める空間を作っています。2歳児の保育室には、木製の玩具整理棚(袋別に入れたパズル、人形おしゃれセットや紐通しなどを整理できる。写真貼付け)、ままごと、絵本ラックなどのコーナーを作っていました。4・5歳児は、本部派遣の講師によるスポーツチャンバラや科学教室(音の伝導、空気・鏡の性質などを実験的に学ぶ)をカリキュラムに取り入れ、子どもが興味を持ち主体的に関われるように計画的に実施しています。

ツールを工夫して様々な表現活動を取り入れ、楽しみながら育てています

1～3歳児クラスには本年度から職員の絵本リーダー制を取り入れ、毎月本部から配布される絵本を使って言葉遊びやパペットで実演して見せるなど子どもに言葉に対する感覚を養っています。また、バランス運動によって感覚を養うことを目的に年齢に合わせた内容で平均台を使った運動遊びを取り入れたり、リトミック、粘土遊びや工作、絵を描くなど様々な機会を作って表現活動を楽しみながら保育に取り入れられています。5歳児には、12月頃から、トレーニングを受けた職員が文字や数を学習する時間も設け、指導しています。

戸外活動で交通ルールやマナー、自分の気持ちを調整することを学んでいます

訪問調査の日、11人の5歳児と3人の職員が片道徒歩約25分、SL公園へ向かいました。その日の散歩は、近々実施する予定の砦公園までの遠距離を歩く遠足に備えた練習を兼ねていました。途中交通ルールや挨拶のマナー、仲良く手をつなぐことなどを学びつつ、歌をうたい、おしゃべりを楽しみながら移動しました。公園では、鬼ごっこやSLの見学、好きな遊具で遊ぶなど決められた時間内で思い切り体を使って走り回りました。時に子ども同士のトラブルが生じましたが、職員の役割分担と子どもの気持ちを汲んだ見通しを持った指導を観察しました。

4 評価項目4 日常の保育に変化と潤いを持たせるよう、行事等を実施している		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
● あり ○ なし	1. 行事等の実施にあたり、子どもが興味や関心を持ち、自ら進んで取り組めるよう工夫している	○ 非該当
● あり ○ なし	2. みんなで協力し、やり遂げることの喜びを味わえるような行事等を実施している	○ 非該当
● あり ○ なし	3. 子どもが意欲的に行事等に取り組めるよう、行事等の準備・実施にあたり、保護者の理解や協力を得るための工夫をしている	○ 非該当
評価項目4の講評		
<p>年間を通して行事を計画し、子どもが関心を持って参加できるように工夫しています</p> <p>毎月の誕生会をはじめ、子どもの日や七夕、クリスマス会、節分、ひな祭り、遠足など季節に合わせた行事のほか、8月の納涼祭、10月の運動会は保護者参加とし、スケジュールと担当職員を予め決めて実施しています。行事の実施に当たっては、クラスの年齢に合った絵本や紙芝居を利用して子どもに分かりやすく伝えます。職員は、子どもが友達と共通の目的を持ち、考え、工夫し、協力しながら様々な行事に取り組めるように目標を定め指導に当たっています。5歳児が運動会に向けて自分の好きな絵を描いたTシャツ作りを楽しむ様子を観察しました。</p> <p>行事に取り組むことを通して、みんなで協力しやり遂げる体験をしています</p> <p>本年8月に実施した納涼祭では、園庭で地元の農業団体の協力を得て地場産の野菜を販売しました。子どもが協力合って野菜を仕入れに出かけ、その野菜をお店で売る体験をしました。7月の行事でお店屋さんごっこを実施しており、その延長線で実体験をしています。みんなで協力しやり遂げることができた行事です。保護者は、取り組んでいる子どもの姿から、成長を感じ、喜びや楽しさを感じるとともに、子どもや保護者同士で共有・共感できる機会になり非常に好評でした。</p> <p>行事の日程や企画について、保護者の理解が得られるようにさらなる検討が期待されます</p> <p>行事の日時、場所は年間を通して保護者へ事前に知らせ、併せて決めた経過も伝えるように配慮しています。本年は10月の運動会を、小学校体育館を借り受ける都合で平日に開催することを「園だより」春号で伝えていましたが、総選挙のため変更を余儀なくされ、別に日程や会場を確保することが困難ななかで、11月4日(土)に変更し実施しました。事後にアンケートを依頼し、次回への意見や改善点を把握し、取り入れています。今回の利用者調査の結果を踏まえた行事の日程や企画のさらなる検討が期待されます。</p>		
5 評価項目5 保育時間の長い子どもが落ち着いて過ごせるような配慮をしている		評点(〇〇)
評価	標準項目	
● あり ○ なし	1. 保育時間の長い子どもが安心し、くつろげる環境になるよう配慮をしている	○ 非該当
● あり ○ なし	2. 保育時間が長くなる中で、保育形態の変化がある場合でも、子どもが楽しく過ごせるよう配慮をしている	○ 非該当
評価項目5の講評		
<p>延長保育担当は、職員と延長保育専門の非常勤職員が対応します</p> <p>延長保育の時間設定は、18時16分から20時15分までです。1歳以上の子どもを対象とし、月極利用について事前に「延長保育利用登録書」を提出してもらい、園長が面談のうえ勤務時間と通勤時間を考慮して利用の可否を審査します。現在10時間を越える利用者の定期利用が主ですが、急な用件のため午後3時までに予約した場合スポット利用も可能になっています。17時過ぎから4歳児の保育室(2階)で異年齢の合同保育です。18時から補食やおやつを提供し、1歳児の保育室(1階)へ移り、保護者の迎えを待ちます。職員3人で担当します。</p> <p>日中の子どもの様子を職員間で引継ぎ、安心して過ごせるように心がけています</p> <p>補食や夕食は、その日によって調理師が献立を工夫して提供し、保護者には掲示で知らせています。日中の子どもの様子を職員間で引継ぎ、一人一人一人と向き合いながらゆったりと安心して過ごせるように心がけています。迎えの保護者には玄関で引き取れるようにする一方、人数が少なくなって子どもが不安にならないように配慮しています。延長保育を定期的に利用している保護者の中には、クラス担任と話す機会が少なくなる傾向が見られるようで、検討課題となっています。延長保育の子どもが多い時は20人以上となることもあります。</p>		

6 評価項目6 子どもが楽しく安心して食べることができる食事を提供している		評点(0000)
評価	標準項目	
● あり ○ なし	1. 子どもが楽しく、落ち着いて食事をとれるような雰囲気作りに配慮している	○ 非該当
● あり ○ なし	2. メニューや味付けなどに工夫を凝らしている	○ 非該当
● あり ○ なし	3. 子どもの体調(食物アレルギーを含む)や文化の違いに応じた食事を提供している	○ 非該当
● あり ○ なし	4. 食についての関心を深めるための取り組み(食材の栽培や子どもの調理活動等)を行っている	○ 非該当

評価項目6の講評

食事提供の基本は安心・安全と子どもが美味しく笑顔になれることです

食事の基本的考え方として、①安心・安全、②子どもが美味しく笑顔になれる食事を挙げています。食事の時は、クラスの職員全員が頭に布製のネットとマスク、エプロンを着用するとともに、食物アレルギーを持つ子どもへの対応を間違えないように桃色のトレー、エプロンを着用し、調理室内でも声をかけ合い復唱しています。食事を楽しめるようにうす味(夏期は少し濃いめ)にし、食材を味わい、また、行事食や郷土食(毎月)を食育の一貫としてメニューに取り入れるなど、年間を通して計画的に取り組んでいます。保護者の評価も高い結果でした。

離乳食や食物アレルギー対応など子どもの状況に合わせた食事を提供しています

子どもの個別状況に合った食事の提供として、離乳食や食物アレルギー対応を行っています。現在、離乳食の後期対応、食物アレルギー対応を必要とする子どもが通園しています。離乳食対応では、「食事進捗票」をもとに保護者と面談し、新しい食材は家庭で2回試食してもらってから使用するように工夫しています。食物アレルギー食として、除去・代替食を提供し、牛乳は豆乳、卵はカボチャやパウダー、コーンなどで彩をつけるように工夫しています。献立表作成の1週間前に保護者に確認してもらうなど誤食などの問題が発生しないように配慮しています。

「食育年間計画」の目標に沿って多彩な食育活動を展開しています

「食育年間計画」を立て、旬の食材の提供、行事食、食文化の取り入れ、色々な食材を見て、触り、匂いを感じて食に興味を持てるようにすることを目標に掲げて取り組んでいます。夏はトマトやオクラの栽培・収穫をして旬の食材を味わい、秋はハロウィンでカボチャクッキーを作り、郷土食として11月は長崎ちゃんぽんを食べるほか、子ども全員でスイカ割、納涼祭で地場産野菜の販売、トウモロコシの皮むき(2~5歳児)、バナナケーキのバナナつぶし(1歳児)など多彩な取り組みです。今後、保育担当の職員との連携をさらに深めたいと考えています。

7 評価項目7 子どもが心身の健康を維持できるよう援助している		評点(000)
評価	標準項目	
● あり ○ なし	1. 子どもが自分の健康や安全に関心を持ち、病気やけがを予防・防止できるように援助している	○ 非該当
● あり ○ なし	2. 医療的なケアが必要な子どもに、専門機関等との連携に基づく対応をしている	○ 非該当
● あり ○ なし	3. 保護者と連携をとって、子ども一人ひとりの健康維持に向けた取り組み(乳幼児突然死症候群の予防を含む)を行っている	○ 非該当

評価項目7の講評

年間保健計画に沿って、手洗い・うがいを指導し、励行に努めています

4期に分けた「年間保健計画」を作成し、例えば、第3期は、①手洗い・うがいなど日常的に感染予防に努める、②外遊びなどを通して寒さに負けないような体づくりができるなどを目標に、手洗い・うがいの指導を行い、励行に努めています。昼食後の歯磨きは、区の指導で危険防止から廃止され、うがいをすることに切り変えました。訪問調査の日、手洗い場に、アルコール消毒液と泡洗剤のボトル、小さな紙コップ、ペーパータオルを常備され、外出や外遊びから戻った時や昼食後に、子ども自らそれらを使って手洗い・うがいをしている様子を観察しました。

医療的なケアが必要な子どもへの適切な支援を行っています

熱性けいれんや食物アレルギーを持つ子どもに適切な支援を行っています。保護者に医療機関への定期的な受診を勧め、医師の処方による対処剤などを預かり、保護者と情報を共有しています。職員は、看護師の指導と実演で発症時の対処方法を学習しました。嘱託医（内科）による定期健診と歯科健診（毎年6月）を実施し、保護者と情報やケアの必要性を共有しています。看護師は、毎月ヒヤリハットを集計し、年齢・発生時間・事故の種類を分析し、主な発生原因と状況、次月に取り組む改善策を示すなど、事故・怪我の予防に効果をあげています。

保護者向けに毎月「保健だより」を発行し、子どもの健康に関わる情報を提供しています

保護者向けに毎月「保健だより」を発行し、当月の感染症情報、健診や身体測定の前を伝えています。10月号に、家庭での子どもの過ごし方や食事に関するアンケート結果を掲載し、今後、保育園での生活や指導に活用する予定です。保健だよりの書体・大きさ、文体をどの保護者にも読みやすいように工夫しています。感染症発生時は、通知を掲示し、症状や注意事項を伝えています。SIDS対策として、午睡時にすべての子どもを対象にチェックを行い記録しています。保護者向けにポスターを掲示し、関心を持って注意してもらうように周知しています。

8 評価項目8

保護者が安心して子育てをすることができるよう支援を行っている

評点(〇〇〇〇〇)

評価	標準項目	
● あり ○ なし	1. 保護者には、子育てや就労等の個々の事情に配慮して支援を行っている	○ 非該当
● あり ○ なし	2. 保護者同士が交流できる機会を設けている	○ 非該当
● あり ○ なし	3. 保護者と職員の信頼関係が深まるような取り組みをしている	○ 非該当
● あり ○ なし	4. 子どもの発達や育児などについて、保護者との共通認識を得る取り組みを行っている	○ 非該当
● あり ○ なし	5. 保護者の養育力向上のため、園の保育の活動への参加を促している	○ 非該当

評価項目8の講評

保護者の勤務状況に合わせた延長保育などの利用をしやすいとしています

両親ともにフルタイムで就労している家庭が9割を越え、また、延長保育や突発的なスポット利用、土曜保育などの利用が常時見られます。利用時間を1時間と2時間に分けて利用料金を設定し、利用しやすくしています。当日予約は3時まで、キャンセルは5時までと、臨機応変に対応しています。現在、月決めの延長利用は20人、スポット利用は10月が38回、土曜保育は10人前後、それぞれ子どもが利用しています。こうしたニーズに対応するため、非常勤職員の勤務を固定し、子どもの様子その他必要な情報の共有を徹底しています。

保護者同士の交流や保護者と職員の信頼関係について、今後の進展が期待されます

4月に保護者会を開催したほか、7月の納涼祭や11月の運動会など保護者参加の行事が保護者同士が交流する機会になっています。開園して2年目、開設時の保護者会の経過、様々な事情を抱える家庭、フルタイムで忙しい家庭など、保護者同士の交流が深まるには尚時間がかかると見られます。同様に、保護者と職員の信頼関係についても、保育園からのきめ細かい情報発信、本年度立ち上げた運営委員会、その他保護者の意見を聞く機会の設定など、信頼関係を築き、深める取り組みを継続しているところで、今後の進展が期待されます。

保護者の養育力向上に役立つように保育活動へ参加を促すことが期待されます

2017年6月30日(土)、「発達障がい」をテーマに区の発達障害相談・療育センターから講師を招いて保護者の子育て講座を開催しました。保護者に発達障害に対する理解や認識を深め、養育力向上に役立つことを期待していましたが、結果はねらいとおりにはならなかったようです。今回の利用者調査で保育園への意見・要望に、日常の保育活動を見る機会や職員との意見交換の機会を求める記述がありました。保育参観の年度内実施を検討してきましたが、日程調整が難しい状況です。今後、年間計画に位置付けるなど計画的な取り組みが期待されます。

9 評価項目9 地域との連携のもとに子どもの生活の幅を広げるための取り組みを行っている		評点(○●)
評価	標準項目	
● あり ○ なし	1. 子どもが地域の資源を利用し、多様な体験や交流ができるような機会を確保している	○ 非該当
○ あり ● なし	2. 園の行事に地域の人々の参加を呼び掛けたり、地域の行事に参加する等、子どもが職員以外の人と交流できる機会を確保している	○ 非該当
評価項目9の講評		
<p>近隣住民との信頼関係を築く交流を重ね、生活の幅を広げています</p> <p>遠く・近くに5か所の公園があり、日常の戸外活動で年齢や目的に合わせて利用し、その際の行き帰りに出会う近隣住民へ挨拶を励行しています。地域との信頼関係を構築する重要性を考慮し、各年齢の年間指導計画の地域支援で取り上げ、取り組んでいます。本年度は、徒歩5分の農協(JA)へ、5歳児が調理に使う地場野菜を買いに行き始め、ズッキーニ、ジャガイモ、なすなどを買って戻ってきます。そうした関係が深まり、トマトやオクラの苗を育てたり、7月の納涼祭で野菜の販売をすることにつながりました。子どもの生活の幅が広がっています、</p> <p>地域の人々と交流できるように職員全体で知恵を絞って取り組むことが期待されます</p> <p>保育園は、最寄り駅から徒歩8分くらい、住宅地域に立地しています。周辺は一戸建て住宅が主で、昔ながらの商店やマンション、駐車場が点在しています。祭りなどの地域行事も無く、交流を図る資源が少ないと見られます。まもなく開園3年目、すでに農協(JA)とのつながりができました。今後、地域のイベント情報を収集したり、住民へ保育園行事への参加を呼びかけたり、地縁人縁を辿って地域の資源を探索し、関係づくりに取り組むことはどうか、職員全体で知恵を絞って検討することが期待されます。</p>		

事業者が特に力を入れている取り組み①		
評価項目	5-1-2	職員の質の向上に取り組んでいる
タイトル①	期待役割シートによる面接や研修制度などにより、職員の能力向上に力を入れています	
内容①	期待役割シートによる面接と研修制度などにより、職員の能力向上に努めています。職員は期待役割シートに、理念の浸透・実践、結果業績、業務改善・改革などの期待役割について記入し、園長はこれをもとに職員と面接し、評価を行っています。面接の過程で、職員の意向を聞き、やる気を引き出すようにしています。研修計画は、園長と主任が職員の意向に基づいて作成します。新入職員には先輩職員がコーチになって業務の指導・助言を行っています。職員に参考図書を貸し出し、特別な配慮が必要な子どもの理解や気づきを促しています。	

事業者が特に力を入れている取り組み②		
評価項目	5-2-1	職員一人ひとりの主体的な判断・行動と組織としての学びに取り組んでいる
タイトル②	職員が主体となって、チームとして働くための仕組み作りに取り組んでいます	
内容②	職員が組織人として働くようにと考え、資質向上チームを立ち上げました。職員を3チームに分け、企業理念を踏まえた保育園のゴールイメージを設定します。ゴールイメージをもとにチームの目標と個人目標を設定し、個人目標をステップごとに実行しています。ゴールイメージは「子どもの人権を守る、大人も子供も心地よい環境つくる」としています。例えば、Aチームは目標を「コミュニケーションを図る、相手のことを知る」とし、メンバーが個人目標に「積極的に他の職員に声をかけるなど」を掲げ、実行し、互いに良好な関係を築いています。	

事業者が特に力を入れている取り組み③		
評価項目	6-4-6	子どもが楽しく安心して食べることができる食事を提供している
タイトル③	子どもが、安心・安全と美味しく笑顔になれる食事の提供に力を入れています	
内容③	食事提供に、①安心・安全、②子どもが美味しく笑顔になれることを基本姿勢としています。食育年間計画を立て、目標に「しっかり噛んで、よく味わい、友達と一緒に楽しく給食を食べる。旬の食材を食べ、季節の行事食を取り入れ豊かな食文化に触れる。様々な食材を見、触れ、匂いを嗅いで食に興味を持てる環境づくり」を掲げ、食事は薄味で旬の食材を使い、郷土食や行事食を取り入れ、食材の皮むきや握りつぶすなどを経験し、野菜の栽培・収穫・販売を体験するなど取り組みは多彩です。食物アレルギー対策は職員一体となって事故防止に努めています。	

No.	特に良いと思う点	
1	タイトル	日々の保育内容の有効性を検証しながら、生活や遊びが豊かに展開されるように計画的に人的・物的環境を整えています
	内容	日々の保育において、年齢別に合わせて子どもが主体的・自主的に遊びを選び遊びこめる遊具コーナーを設定しています。集団活動では、年長児を対象に外部の講師によるスポーツチャンバラや科学教室を定期的に実施、年少児には絵本やパペットを取り入れた言葉遊びを楽しんだり、感覚統合の観点からバランス運動やリトミックを取り入れています。楽器遊びや粘土遊び・工作などで様々な表現活動に取り組み、自然や季節を感じ、マナーを学びながら外出するなど環境設定や保育内容の有効性を検証しながら、計画的に人的・物的環境を整えています。
2	タイトル	特別な配慮が必要な子どもの保育に当たり、他の子どもとの生活との生活を通してともに成長できるように援助しています
	内容	特別な配慮が必要な子どもの特性で、例えば、居室の壁面をシンプルにし刺激しないように工夫しています。食物アレルギーを持つ子どもには、医師の指示のもとで、除去食や代替食を提供しています。熱性けいれんなど医療的なケアが必要な子どもは、医療機関の定期的な受診の上で保護者と連携しています。園内に発達障害などに関する参考図書を整備し、また、外部の専門研修に派遣して受講するなど職員の知識や保育技術を向上させ、子どもが健やかに、他の子どもとともに成長できるように努めています。
3	タイトル	資質向上チームを立ち上げたり、学習環境を整えたり、働きやすい職場環境を作っています
	内容	職員が組織人として働きやすい環境を作るために、現場の意向や多角的視点から課題を把握し、実行に移すために資質向上チームを立ち上げました。職員を3チームに分け、企業理念を踏まえた保育園のゴールイメージを設定し、これをもとにチームと個人の目標を立て、ステップごとに実行しています。また、特別な配慮が必要な子どもについて、職員の知識と保育技術を向上させるため、参考図書を整備し学習環境を整えました。発達障害をもつ子どもについての知識と保育技術の習得が進み、発達障害の子どもに対し配慮できるようになっています。
No.	さらなる改善が望まれる点	
1	タイトル	施設・備品開放・貸し出しなど地域への還元や専門性を生かした取り組みが期待されます
	内容	見学会に参加された利用希望者などの個別相談に応じ、また、今回の第三者評価の結果を公表する予定で、開かれた保育園となるように努めています。これまで、多様な保育事業の一環として障害児保育に取り組み、また、発達障害をテーマとする講座を開催しています。今後、子どもの生活に支障が生じない範囲で、地域のニーズを踏まえた取り組み、例えば、施設の開放や設備・備品などの貸し出し、在宅子育て家庭を対象とする育児相談や育児講座、保育所体験など有する機能や専門性を生かす取り組みが期待されます。
2	タイトル	見学の申し込みに対し利用希望者の都合や子どもの生活に配慮して受け入れることが期待されます
	内容	現在、保育園への問い合わせや見学の申し込みは本部のホームページを通して受け付けています。ホームページに見学受け入れ日程を記載し、2か月に1回(20組まで)、土曜日に受け入れています。ホームページからメールで申し込むと、保育園で調整して申込希望者に返信されます。説明は、園長が広い保育室においてパンフレットを配布して行っています。今後、利用希望者の都合を考慮し、また、子どもの生活に配慮して、見学を受け入れることが期待されます。
3	タイトル	保護者との信頼関係を深めたり高めたりするさらなる取り組みが期待されます
	内容	今回の利用者調査の結果、「子どもの保育について家庭と保育所に信頼関係はあるか」という質問(問10)に対し、「はい」と答えた人は54%に留まりました。また、保育園に対する意見・要望には、日常の保育活動を見る機会や職員との意見交換の機会が少ないことが記述されていました。本年度から運営委員会を予定し、保育参観の機会を作ることなどを検討しているなかで、速やかにこれらの実施に取り組みとともに、今後、保護者との信頼関係を深めたり高めたりするため、さらなる取り組みが必要ではないか、検討が期待されます。